



〒663-8558 西宮市池開町6-46

武庫川女子大学言語文化研究所

TEL 0798(45)3536

FAX 0798(45)3574

<http://www.mukogawa-u.ac.jp/~ILC>

新聞社会面の語彙

1999年発行の『LC りぽーと Vol.10』では、1997年の新聞第一面を資料として、語彙調査の結果を報告しました。証券会社の利益供与事件に関する語彙が上位に入っていることや、政治・経済にかかわる語彙が上位にランクインしているなど、第一面の特色が表れていました。また、漢語使用率の高さは、雑誌などと比較しても、その異質さが明らかだという結果でした。

今回の調査対象は1998年の新聞で、社会面をデータとしたものです。『Vol.10』で扱った第一面と、今回調査した社会面とでは、その結果に差があるのかどうか、といった点にも目を向けながら、中間報告をします。

◆調査の方法

朝日、毎日、読売の新聞3紙（各大阪本社発行）の社会面において、1998年1月～12月の休刊日を除くすべての日の朝刊から、各5文を無作為抽出した。そのデータをテキストデータとして入力し、プログラム処理によって、使われている語彙を調べた。自立語だけを対象とし、助詞、助動詞は含めない。語彙は短単位データである。

データは、353日分で5,295の文である。そこに含まれる語彙は次の通りであった。

延べ：99,238語

異なり：13,420語

ちなみに第一面では、延べ 125,725語、異なり 11,766語であり、①第一面の方が、一文がやや長文である ②社会面の方が、バラエティに富んだ語彙が使用されている、といった傾向がうかがえる。

◆語彙表

出現度数の多い語から順に並べたものが表1である。複数の読みが可能な語彙にはできるだけ読みをつけるようにし、漢語は片仮名、和語は平仮名で示している。語種については、和語（W）、漢語（K）、外来語（G）、混種語（M）及びその他（-）の5分類とし、その他は「日本国内の地名・人名等の固有名詞及びアラビア数字」に限った。したがって、固有名詞でも「アフガニスタン」「ソーサ」などは外来語として扱い、漢数字の「一」～「十」については漢語と認定した。出現率はパーミルで表す。

表 1

順位	語彙	語種	度数	%	順位	語彙	語種	度数	%
1	する	W	2,304	23.1	51	午後	K	235	2.4
2	いる	W	1,995	20.0	52	ため	W	233	2.3
3	者(シャ)	K	929	9.3	53	町(チュウ)	K	226	2.3
4	1	—	840	8.4	54	中(チュウ)	K	218	2.2
5	0	—	733	7.3	54	分(フン)	K	218	2.2
6	一	K	698	7.0	56	会	K	217	2.2
7	日(ニチ)	K	689	6.9	57	区	K	208	2.1
8	市	K	667	6.7	58	後(ゴ)	K	206	2.1
9	東(ひがし)	W	641	6.4	59	元(もと)	W	198	2.0
10	容疑	K	615	6.2	60	調べ	W	196	2.0
11	月(ガツ)	K	604	6.0	61	ごろ	W	193	1.9
12	年(ネン)	K	601	6.0	62	前(まえ)	W	187	1.9
13	人(ニン)	K	584	5.8	63	車(シャ)	K	181	1.8
14	2	—	581	5.8	64	男性	K	180	1.8
15	こと	W	580	5.8	65	関係	K	176	1.8
16	ある	W	578	5.8	66	日本	K	174	1.7
17	いう	W	550	5.5	67	金(キン)	K	172	1.7
18	さん	W	503	5.0	68	逮捕	K	171	1.7
19	約	K	501	5.0	69	員	K	166	1.7
20	十	K	493	4.9	70	みる	W	164	1.6
21	円	K	474	4.7	70	的	K	164	1.6
22	なる	W	466	4.7	70	本部	K	164	1.6
23	九	K	450	4.5	73	その	W	158	1.6
24	大阪	—	436	4.4	74	東京	—	156	1.6
25	3	—	435	4.4	74	府	K	156	1.6
26	二	K	433	4.3	76	億	K	154	1.5
27	5	—	412	4.1	76	昨年	K	154	1.5
28	三	K	410	4.1	78	疑い	W	151	1.5
29	五	K	403	4.0	79	おる	W	150	1.5
29	万	K	393	3.9	80	受ける	W	145	1.5
31	4	—	388	3.9	81	署	K	143	1.4
32	時(ジ)	K	356	3.6	82	所(ショ)	K	142	1.4
32	よる	W	352	3.5	83	メートル	G	138	1.4
34	9	—	338	3.4	83	部	K	138	1.4
35	事件	K	337	3.4	85	病院	K	136	1.4
36	四	K	321	3.2	86	被告	K	132	1.3
37	同	K	317	3.2	87	三十	K	131	1.3
38	6	—	312	3.1	88	側(がわ)	W	129	1.3
39	ない	W	306	3.1	89	女性	K	126	1.3
40	六	K	301	3.0	90	対する	M	121	1.2
41	ら	W	300	3.0	91	大(ダイ)	K	120	1.2
42	会社	K	289	2.9	92	社長	K	119	1.2
43	県	K	279	2.8	92	職員	K	119	1.2
44	この	W	272	2.7	94	府警	K	118	1.2
44	二十	K	266	2.7	95	できる	W	115	1.2
46	七	K	254	2.5	96	市内	K	113	1.1
47	7	—	251	2.5	97	保険	K	109	1.1
47	捜査	K	251	2.5	98	計	K	108	1.1
49	8	—	241	2.4	99	市長	K	107	1.1
49	八	K	241	2.4	100	幹部	K	102	1.0

表1では、紙面の都合上100位までを掲げた。最も多かったのは「する」で、それに「いる、者（ジャ）、1、0」と続く。1997年の新聞でも、上位は「する、いる、日、こと、一」など、新聞の語彙調査では常に上位を占める語であった。ただし、数字に関しては、アラビア数字ではなく、漢数字が上位を占めていた。1997年は、朝日と読売の2紙が日時や年齢などをすべて漢数字で表していたが、1998年には、読売が年齢の表記をアラビア数字に変えたため、今回の調査では、前回と逆転してアラビア数字が上位に入ったものと考えられる。

ここで特徴的な語彙は、「事件」(35位)、「捜査」(48位)、「調べ」(60位)、「逮捕」(68位)、「疑い」(78位)などがあげられる。社会面が、日々社会を騒がしている事件・事故を取り上げていることがうかがえる。また、97位の「保険」は、和歌山市園部で起きた、保険金詐欺事件に関する報道が影響を与えたものと思われる。

◆月別トピックス

次に、月ごとの特徴的な語彙をあげていく。その方法として、全体の上位300位までの語彙と、月別の上位150位までの語彙を比較して、重複しない語彙を取り出すことにする。その作業によって抽出された語彙が、世間を騒がし、頻繁に報道された事件や事故と結びつく、つまり、その月を象徴する語彙になると言える。ここでは紙面の都合上、偶数月を対象とし、事件・事故と関連が深いと思われる語彙について表す。

2月 (全20語)			
順位	語彙	頻度	
1	新井	16	・新井将敬衆院議員が、日興証券からの利益供与事件にかみ自殺。
3	五輪	15	・長野冬季五輪が開幕。
7	長野	12	・大手企業が、検査などで便宜をはかってもらうため、官僚を接待。
10	接待	9	・東京都江東区、北九州市、群馬県、浦和市、神戸市兵庫区など各地で、中学生による事件が多発。
11	中学	9	

4月 (全22語)			
順位	語彙	頻度	
2	ダイオキシン	17	・ごみ焼却施設「豊能郡美化センター」で、ダイオキシンが発生していたことが判明。
4	移植	16	・臓器移植が法律成立前に行われていたとして、医師数人が告訴される。
7	施設	13	・明石海峡大橋が開通。
7	組合	13	
7	大橋	13	

6月 (全21語)

順位	語彙	頻度
9	戦	11
13	総会	10

- サッカーのワールドカップ開幕。日本対アルゼンチン戦。
- 株主総会が開催。

8月 (全31語)

順位	語彙	頻度
2	毒物	22
3	青酸	19
6	ヒ素	16
7	カレー	13
7	中毒	13

- 和歌山市園部での毒物カレー事件。
- 新潟市の会社で、ポットに毒物が混入されていた事件。
- 和歌山市園部の毒物は青酸ではなく、ヒ素による中毒と判明。

10月 (全22語)

順位	語彙	頻度
1	真須美	18
2	健治	14
3	障害	13
4	診断	12
4	林	12

- 林真須美・健治容疑者が、実際よりも重度の障害を装い医師に診断書を書かせたなどとして、保険金詐欺疑惑で逮捕される。

12月 (全21語)

順位	語彙	頻度
1	真須美	21
2	中島	14
4	目撃	10
5	カレー	9
6	奈良	8

- 真須美容疑者が、カレー鍋の近くに一人でいたことが、住人に目撃されていた。
- 中島洋次郎衆院議員が受託収賄容疑で逮捕される。
- 「古都奈良の文化財」が世界遺産に登録される。

あしがき ----- 2000.Mar.

今回の結果は中間報告であり、大まかな点は間違いありませんが、細かい数値については、まだ修正すべきものがあることを申し添えておきます。

[担当] 佐竹秀雄・岸本千秋

[作業協力者] 由良聡美・水迫千佳・森継真由